

Ⅷ 病害虫総合制御技術推進特別対策事業

1. キウイフルーツ花腐細菌病

<広域モデル地区の設置>

- (1) 設置場所：南高来郡瑞穂町
- (2) 設置面積：6 ha
- (3) 設置期間：平成4年4月～平成5年3月
- (4) 設置内容

1) 調査解析圃の設置

①設置目的

花腐細菌病の発生と被害の調査並びに雨よけ被覆の物理的防除法、環状剥皮の耕種的防除法及び化学的防除法による防除の実証、展示を行う。

②設置場所：南高来郡瑞穂町古部乙 谷口唯夫氏圃場

③調査解析圃の内容

区分	処 理	処 理 内 容
1	雨よけ被覆区	4/2 ビニル被覆、5/27 ビニル除去
2	環状剥皮区 (5mm幅)	4/28 5mm幅で木質部に達するまで処理し、同時にカルスA(カルス癒合促進テープ)を処理。
3	環状剥皮(5mm) +薬剤散布区	環状剥皮の処理時期、方法は同上 3/18コサイドボルドー×1,000 5/19アグレプト水和剤
4	環状剥皮区 (10mm幅)	4/28 10mm幅で木質部に達するまで処理し、同時にカルスA(カルス癒合促進テープ)を処理
5	環状剥皮(10mm) +薬剤散布区	環状剥皮の処理時期、方法は同上 3/18コサイドボルドー×1,000 5/19アグレプト水和剤
6	慣行区	3/18 コサイドボルドー×1,000 4/12 アグリマイシン100水和剤×1,000 4/28 カスミン液剤×1,000 5/19 アグレプト水和剤×1,000
7	無処理区	

※全区、6月28日にフルメット液剤(果実肥大促進剤)の2:5ppmを散布。

④耕種概要

品種：ハイワード

樹齢：14年生

⑤生育相

雨よけ被覆済開日：5月21日

露地済開日：5月24日

⑥調査方法

a. 発病状況調査

各区、満開期(5月21日、24日)に程度別に発病花数を調査し、発病花率、発病度を求めた。

b. 果実肥大調査

雨よけ被覆区、環状剥皮区(5mm、10mm)、無処理区について6月11日、22日、7月2日に縦径、横径を調査した。

c. 規格別果実割合調査

11月18日に雨よけ被覆区、環状剥皮区(5mm、10mm)、慣行区、無処理区の1樹のうち1主枝全果を収穫し、1㎡当たりの収量と100果の規格別(重量別)果数割合、1果平均重を調査した。また、各区50果の偏平指数を求めた。

⑦調査結果

a. 発病状況調査

区分	発病程度別花数 ^{a)}				調査花数	発病花数	発病花率	発病 ^{b)} 度
	無	少	中	多				
1	295	5	3	4	307	12	3.9	2.1
2	242	3	3	1	249	7	2.8	1.2
3	299	4	0	1	304	5	1.6	0.5
4	263	6	1	0	270	7	2.6	0.6
5	234	1	0	0	235	1	0.4	0.1
6	243	9	4	4	260	17	6.5	2.9
7	165	14	9	6	194	29	14.9	6.6

a) 発病程度 無：指数0、健全花。

少：指数1、葯の一部が褐変

中：指数3、葯の全体あるいは花柱の先端まで褐変

多：指数6、花全体が褐変、腐敗

b) 発病度 = $\frac{6 \times \text{多} + 3 \times \text{中} + 1 \times \text{少}}{6 \times \text{調査花数}} \times 100$

b. 果実肥大調査(単位：mm)

区分	処 理	調査果数	6月11日		6月22日		7月2日	
			縦径	横径	縦径	横径	縦径	横径
1	雨よけ被覆	14	27.9	23.3	40.2	32.7	47.6	38.3
2	環状剥皮(5mm)	11	25.3	21.8	35.6	28.4	45.5	36.3
4	環状剥皮(10mm)	12	24.8	21.7	37.8	30.3	45.9	36.0
7	無処理	11	27.7	23.6	39.5	33.0	47.7	39.8

